



| 全体 | - | All | All | All | 人名について:日本語訳聖書にあっても以下のような違いがあることから、演奏者判断により"マリア"を"マリヤ"と変更しての演奏もOKです。 ・マリヤ:口語訳、新改訳3版 ・マリア:新共同訳、新改訳2017 |
|-------------|---------------|-----|-----|-----|--|
| 96- 106 | 962 - 1048 | 37 | 35 | All | 「行く」の発音は「いく」でなく「ゆく」に統一する |
| 136 | - | 6 | 4 | - | 歌詞の漢字∶恐れる⇒畏れる |
| 136 -137 | _ | 6 | 4 | - | 掲載歌詞のラテン語/日本語全体を以下に置き換えてください。 ↓ わが心は 主なる神を まごころもて 崇めまつる。 Magnificat anima mea Dominum. |

Quia respexit humilitatem ancillae suae:

わが魂 救いの主を 喜びもて 褒め讃える。

今よりのち 世の人 皆 われを呼ぶ いとも 幸いなもの!

ecce enim ex hoc beatam me dicent omnes generationes.

み力もて 主は この身に 大いなるわざ なしたがゆえ

Et exsultavit spiritus meus in Deo salutari meo. 主は 卑しきわが身にさえ その眼差し たもうゆえ。

Quia fecit mihi magna qui potens est:

聖なる主の御名、主の御名 尊く、

et sanctum nomen eius.

その憐れみは 主を畏れる者に 世々 限りなく

Et misericordia eius a progenie in progenies timentibus eum.

主は み腕で 力をふるい、驕れる者を 打ち散らし、

上はなりがらいというというでもでいる。

Fecit potentiam in brachio suo: dispersit superbos mente cordis sui.

権力者を 引き下ろし、低き者を 高くあげ、

Deposuit potentes de sede et exaltavit humiles.

飢えた者を 良きもので満たし 富める者を 退ける。

Esurientes implevit bonis: et divites dimisit inanes.

主は、憐れみを、忘れず、僕(しもべ)イスラエルを、救われた、

Suscepit Israel puerum suum, recordatus misericordiae suae.

わが祖先に言われたとおり、

Sicut locutus est ad patres nostros,

アブラハムと子孫に 永遠(とこしえ)に。

Abraham et semini eius in saecula.

栄光は 父と、子と、聖霊に

Gloria Patri et Filio et Spiritui Sancto.

始めも 今も つねに 永久(とわ)に アーメン。

Sicut erat in principio et nunc et semper et in saecula saeculorum. Amen.

- 行毎に対比する形で並べ替えました
- ・ラテン語歌詞について、一部の大文字/小文字の誤り (主にソフトによる自動変換時に生じたもの)を訂正しました

↓ 正誤表の最新版 → https://ommo.info/opus/gsv/docs/Ver2.0/GsvGe_Ver.2.0_errata.pdf

Vocalスコアの最新版 → https://ommo.info/opus/gsv/Score.htm ↓



